

対応方針（2025プラン）の変更（セントヒル病院）

病床機能報告における 病床数（7月1日時点）			対応方針（2025プラン）の内容					備考 （対応方針の実 施予定時期等）
機能 区分	R5 現在	R7 予定	病院の特徴・役割	今後の方針	機能別病床数（2025）			
					機能 区分	現行	変更後	
高 度 急性期			・急性期機能、回復期機能、慢性期機能を担う。 ・4機能のうち急性期が中心。	・人工透析を中心に当院の特徴ある部分を活かして地域貢献を図っていく。特に長期透析患者は様々な合併症を抱えることが多いため、循環器内科や消化器内科、整形外科等の複数の専門医による総合的な診断・治療が不可欠であり、当院として可能な専門性のある治療を行いながら患者の状態に合わせて回復期及び慢性期との機能分担を図りながら、患者のＱＯＬの向上に繋げたい。 ・地域包括ケア病床を拡大し、ポストアキュートはもちろん、提携している介護施設等の後方支援としてサブアキュートの機能も強化する。状況に応じて更に病床数の拡大も検討する。 ・ＰＥＴやＭＲＩ等のモダリティを最大限に活用できるよう共同利用の向上と共に健康診断を含めたがん検診率向上の普及に努める。	高 度 急性期			令和7年4月 実施予定
急性期	101	101			急性期	101	<u>74</u>	
回復期		43			回復期	43	<u>27</u>	
慢性期	83	40			慢性期	40	<u>83</u>	
休 棟					休 棟			
合 計	184	184			合 計	184	184	